



題 字 元内閣総理大臣 小泉 純一郎 氏

【発行人】一般社団法人 横須賀三浦建設協会 理事長 杉山 幸保 〒238-0017 横須賀市上町3-2 TEL.046-822-5479

【広報事業委員】村田 勝 (大工)・飯田 茂 (左官)・石川 健太 (石材)・今井 幸平 (表具)

【印刷所】有限会社 新倉印刷 〒240-0104 横須賀市芦名2-19-16 TEL.046-857-2539



理事長
杉山 幸保

新年のごあいさつ

一般社団法人 横須賀三浦建設協会 理事長 杉山 幸保

あけましておめでとうございます。

昨年9月4日開催の「9月度理事会」において、金崎富男理事長の辞任を受け、新たに第10代理事長に就任した杉山幸保でございます。

令和7年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年は「巳」(へび・み)年です。十干の「乙」(きのと)と十二支の「巳」

(み)が組み合わさった「乙巳」(きのと・み)というそうです。

乙(きのと)は、十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味だそうです。また巳(み・へび)は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされていると言われます。

そのため乙巳(きのとみ)の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると言われます。

当協会は、昭和30年に横須賀建設工連合会として発足し、横須賀建設組合連合会を経て、昭和48年に社団法人横須賀三浦建設協会が設立され、今年で通算70年目を迎えます。

昭和56年のピーク時には1,570名在籍していた会員は、現在では409名(令和6年11月末現在)で約1/4に減っています。また今年で団塊の世代が全員75歳の後期高齢者となり、会員減少に歯止めがかかりません。このような状況から建設産業を担う人材の育成が急務となっています。今年3月には県立横須賀工業高校の建設科の第1期生35人が卒業します。卒業生の内、半数以上が土木でなく建築関係を目指していると聞きます。一人でも多く地元に残ってもらえるよう生徒に出前授業を行い、事業所と生徒のマッチングを図り、若き人材が地元建設業に就職することを期待しているところです。

今後も、先人たちの志を受け継ぎ地域の皆さま方の生活環境の向上を図り、匠の技を継承し続けていきたいと考えています。

もとより微力ではありますが、代表として当協会の更なる発展をめざしまして、全力を尽くす所存です。本年が皆さんとそしてご家族にとって良き一年となることを祈願いたしまして、年頭の挨拶といたします。

第51回 通常総会

令和6年6月20日（木）午後3時から、メルキュールホテル横須賀5階バリにおいて、第51回「通常総会」が開催されました。

総会では、杉山幸保副理事長の開会宣言に続き、金崎富男理事長が壇上に上がり物故者に対する黙とうが行われました。理事長挨拶では、1月1日の能登半島地震のお見舞いと昨年の協会設立50周年を迎えられたことについて、「多くの方々に支えられここまで来ることができました」とお礼の弁が述べられました。総会審議では議案はすべて可決承認されました。

午後4時40分から懇親会が行われ、来賓18名、会員44名、事務局2名の合計64名の参加で大いに盛り上がりました。

司会は、総会に引き続き鈴木浩表具組合長が務め、金崎理事長の挨拶に始まり、来賓挨拶は顧問小泉進次郎事務所の渡邊周平秘書、続いて市長代理で三浦勝明都市部長、大野忠之横須賀市議会議長、永井福男横須賀建設業関連団体協議会会長、宇内達也建災防横須賀分会長、高崎久成神奈川県建設業国民健康保険組合副理事長と続き、乾杯の発声は杉山副理事長で閉宴となりました。

和やかな歓談の後、「宴もたけなわではありますが…」と山本専務理事の締めのことばで午後6時40分に閉宴となりました。

【通常総会の概要】

- 開催時間：午後3時から4時30分
- 定足数：総会員数424名 当日出席者47名 委任状出席者226名
- 司会：鈴木 浩氏（表具）
- 議長：新倉 雅士氏（石材）、石井 基也氏（瓦）
- 書記：紙谷 保朗氏（左官）
- 議事録署名人：五十嵐孝雄氏（左官）、鈴木 伸夫氏（造園）



議長団と執行部



総会懇親会

協会ウォーキング“河津桜とイチゴ狩り”

令和6年2月25日（日）に当協会のウォーキングを河津桜・イチゴ狩りウォーキングとして、9時30分集合、10時に出発しました。当日は小雨が降り気温5度という悪条件の中、子供含む13人に参加していただき、三崎口駅から小松ヶ池河津桜は悪天候にもかかわらず多くの花見客がいました。三浦海岸駅を経ていちご狩りを行い、12時30分ごろ解散しました。次回は令和7年2月16日（日）、金沢文庫駅集合で称名寺から県立金沢文庫を観覧し八景島を目指すウォーキングを開催したいと思います。ふるってのご参加をお待ちしています。〔文・写真：健保事業委員長 鈴木 伸夫氏〕



みんなそろっての集合写真



いちご園で真っ赤ないちごを堪能



小雨振る桜並木

第11回 よこすか建設フェスタ

令和6年6月2日（日）横須賀建設業関連団体協議会が主催する「第11回よこすか建設フェスタ」が長井海の手公園「ソレイユの丘」で開催されました。開会式の挨拶は今回初めてご出席の黒岩祐治神奈川県知事、続いて小泉進次郎代議士など開会式は盛大に盛り上がりました。朝から晴天に恵まれ多くの子どもたちで賑わいましたが、午後から空模様が怪しくなり今にも雨が降ってきそうな天気になり、早々に切り上げる家族連れが多く、フェスタ終了に合わせ雨に降られてしまいました。

来場者数は去年の半分の6,231人（去年は12,000人）と発表がありました。



病気の早期発見のために集団健診を

令和6年9月19日(木)横須賀市文化会館展示室にて集団健診が実施されました。健康を脅かす酷暑が収まらぬ中、受診者は41名(昨年は45名)でした。誰もが持っている大きな病気の種から、自分と家族を守るには、日ごろからの健康に対する危機意識を持ち続けるほかありません。健康診断・人間ドックに積極的に受診しましょう。誰のためでもない、あなたのためです。今年は、令和7年9月18日(木)の予定です。 [取材:村田 勝]



受付をする、鈴木 伸夫 委員長(右)
と小原 直樹 委員(左)



健診会場の様子

横須賀市住宅相談運営委員会 公明党政策懇談会

令和6年7月30日(火)、公明党横須賀市議団において令和7年度の政策提言書を市長へ提出するにあたり、市政の課題等を聴取するため横須賀市住宅相談運営委員会に出席依頼がありました。毎年恒例行事ではありますが建設5団体の一員として出席しました。

公明党横須賀市議団の上田弘之宣団長より開会の挨拶と亀井たかつぐ県議会議員の挨拶に続き、横須賀市住宅相談運営委員会の長島一雄副委員長より、お招きいただいたことによるお礼の言葉が述べられ、運営委員会からの要望書の説明、提出されました。

恒例な事業。色々なとり方もありますが、物事を良くする、変えて行くという事は、その場所になければ出来ない事もあると思うのです。来年度に期待しつつ、またご報告出来ればと思います。

[文:村田 勝]



写真は、亀井県議・横須賀市議団の7名のほか、中央右から、長島 一雄 副委員長(北部)、
芹澤 伸一氏・杉山 幸保氏(横三)、伊東 透氏(久里浜)、永瀬 浩史氏(浦賀)の5名。

横須賀市住宅相談運営委員会 横須賀市副市長懇談会

令和6年10月29日（火）午前10時30分より横須賀市役所市長室秘書課会議室にて、田中茂横須賀市副市長、三浦勝明都市部長、水津宏之建築指導課長と意見交換が行われました。運営委員長の臺野正彰氏（神奈川県建）より、令和7年度予算に対する要望書が手渡されました。木耐震工事の予算確保、住宅リフォーム補助金制度の継続、市住相の相談事業の補助金の増額の件などは、横須賀地区を発進とした。各地域の耐震工事の活性化やリフォーム事業については柱に入れなかった方々を、補正予算などを使って手厚く面倒を見てくれたりと、予算増額も含めて感謝の意も伝えました。いまだにはびこる悪質リフォーム搾取への注意喚起、広報よこすかへの毎月掲載など、加えて、高齢者だけではなく、これから担う若い世代の方々へのリフォーム助成金も提案するなど、実りのある明日を期待させる有意義な時間でした。

〔取材：村田 勝〕



田中副市長と
臺野委員長



要望書を説明する
芹澤伸一氏と杉山幸保氏



田中副市長と
市住相のメンバー

令和6年度 木建協横須賀地区労働（交通） 災害防止安全大会

令和6年度木建協横須賀地区労働（交通）災害防止安全大会が、令和6年9月17日（火）18時40分より横須賀市文化会館大ホールにて行われました。参加人数は全体で199名（前回197名）。当協会からは43名（前回52名）となりました。様々な世界情勢からくる先の見えない景気低迷の中、当日足を運んでくださった方々には、毎年感謝の念に堪えません。参加人数は昨年とほぼ横ばい。当協会においては10名あまり減です。各地区においても同じ状況だと聞きます。安全大会とは、我々労働者の日々の安全を祈る気持ちでひらく会です。風の噂では「開催する意味があるのか…」という声が、参加者そしてひらく側からもあがっているとか。ひとつ伝えたい。諸事情で止めざるを得なかったことは再び復活する事はあるが、みずから閉じてしまった物は、2度と開く事はないのです。そして人を想う心も無限ではない。有限なのです。これ以上人が集まる場所を無くしてはいけません。

〔取材：村田 勝〕



横三協会の受付ブース



近藤好広副会長の開会挨拶



閑散とした会場の様子

全国技能士会連合会 会長表彰

令和6年10月30日（水）アルカディア市ヶ谷にて、「第42回全国技能士大会」において会長表彰の贈呈式が執り行われました。一般社団法人全国技能士会連合会では、各所属の技能士会で技能検定、技能グランプリ、技能祭等、技能振興に熱心に取り組まれている功労者の表彰を毎年実施しています。〔写真：鈴木 浩氏（表具）〕 功労者

左官 館花 猛氏 表具 鈴木 浩氏



館花氏：これからも若い担い手の育成に頑張っていきたいと思えます。
鈴木氏：今後も技能検定などを通じて後継者の育成に尽力していきたいと思えます。

【被推薦者の条件】

- (1) 技能検定、技能グランプリ、技能祭等に関与し、通算10年以上を経過した事業所、団体又は個人であって、かかる事業の普及、育成、発展に寄与した功績が著しく大であると認められる者
- (2) 技能士会活動に積極的な事業所、団体又は個人であって、これらの事業を通じ、県技連の組織の発展、技能士の社会的・経済的地位の向上、後継者の指導育成等に通算10年以上寄与し、その功績が著しく大であると認められる者

表彰状を手に、左から、館花 猛氏（左官）と鈴木 浩氏（表具）

建災防県支部大会表彰式

令和6年11月7日（木）14時より横浜市西公会堂にて、第59回神奈川県建設業災害防止大会で建設業における安全衛生活動に長年尽力され、功労・功績のありました方々へ表彰状が授与されました。おめでとうございます。

功績賞

板金 荻野 修一氏

【表彰基準】

- (1) 無災害歴5年以上
- (2) 5年以上支部又は分会役員経験者
- (3) 5年以上事業場の安全衛生関係業務に従事した

今回の功績賞誠にありがとうございます。今年もあとわずかですが、十分に注意いたしまして無事故・無災害で頑張っていきたいと思えます。来年に向けてよい励みになります。



令和6年度 神奈川県技能者等表彰式

令和6年11月13日（水）午後1時30分より県立音楽堂にて、令和6年度神奈川県技能者等表彰式が行われました。受賞した方々おめでとうございます。〔取材：飯田 茂〕

神奈川県技能功労者等表彰（順不同）

優秀技能者

大工 神園 聖三氏
左官 伊東 忠氏

【優秀技能者表彰基準】

- その者の有する技能に係る職業に10年以上従事している年齢30歳以上の者で、勤務成績、日常行為等において他の模範と認められる者
- その者の有する技能に関し、後進技能者の指導育成に尽力した者又は工夫改善等によって生産性の向上に寄与したもので、その功績が顕著であると認められる者



神園 聖三氏（大工）

56年間大工として精進いたしました。これからも体が続く限り頑張ります。



伊東 忠氏（左官）

表彰の栄を賜りましたことは建設協会を初め、三左連の先輩方のご指導によるものと感謝申し上げます。

令和5年度 横須賀市市民表彰

令和6年2月18日(日)横須賀市文化会館大ホールで行われた市制施行記念式典において、市長から建設産業の振興に貢献した6人の皆さまに表彰状と記念品が贈られました。

〔写真：鈴木 浩氏(表具)〕

建設産業の振興に貢献

表具 鈴木 雄 太氏

これからも表具組合を通して建設産業の発展に貢献したいと思います。

【市民表彰基準】

- 建設業関連団体の役員として建設産業の振興に10年以上貢献した者



令和6年度 横須賀市技能功労者等表彰式

令和6年11月5日(火)午後2時30分からヨコスカ・ベイサイド・ポケット(横須賀市芸術劇場小劇場)にて、令和6年度横須賀市技能功労者等表彰式が行われました。ミニコンサート等もあり、華やかな空気に包まれました。受賞された方々おめでとうございます。〔取材：今井 幸平〕

横須賀市技能者等表彰(順不同)

優秀技能者

左官 阿久津 剛氏
表具 鈴木 雄 太氏
石材 脇 通 真氏

阿久津氏：長年頑張ってきた成果が認められてうれしいです。

鈴木氏：お世話になった方々に感謝申し上げます。

脇氏：これからも誠心誠意精進してまいります。



左から、鈴木 雄太氏(表具)、上地 克明市長、脇 通真氏(石材)、阿久津 剛氏(左官)、杉山 幸保 理事長

【優秀技能者表彰基準】

- 技能者として同一職種に20年以上従事していること
- 優れた技能に有し、他の模範と認められる者であること
- 同一職種に引き続き従事するとともに将来を嘱望されている者であること

ごみ処理施設「エコミル」見学会

令和6年10月1日(火)、事業系一般廃棄物処理施設「エコミル」の施設見学会を産廃事業委員と一般参加者14名で行いました。はじめに会議室でビデオによる施設概要の説明があり、これまでの焼却施設である南処理工場の老朽化のため、横須賀市と三浦市と共同でごみの広域処理に取り組むことなどの説明がありました。説明後、施設内の見学ルートに沿って担当者から説明を聞きながら見学しました。特にごみ収集車で集められた燃せるごみを貯めるピットは深さが4.3mあり、最大で5日分のごみを貯めておけることができるそうです。処理能力は1日当たり360tで、燃やした熱で6,600kwの発電ができ、一般家庭で使う電気の17,000軒分が賄えるそうです。見学後、廃棄物対策課事業系廃棄物指導担当「意見交換会」を行いました。



見学ルートに沿って見学

造園組合研修旅行 金沢・神明宮の大ケヤキ

横須賀造園業組合では、恒例の研修旅行を令和6年7月21日（日）、22日（月）に行いました。非常に暑くなりました。

金沢城と兼六園には外国人が半分以上の観光客でした。我々には茶屋街近くに在る、神明宮の大ケヤキを見ました。樹高33m、幹まわり7.83m、枝ぶり25mの巨大なものでした。

1000年程前の源義経が奥州へ向かう時に見たかもしれないと言う事です。

〔文：鈴木 伸夫氏（造園） 写真：環境省HPより〕



事業委員会の紹介【広報事業委員会】

今回の「事業委員会の紹介」は、当「協会報」の発行の経緯と我が「広報事業委員会」の紹介を僭越ながらしたいと思います。

横須賀三浦建設協会「協会報・初版」は、昭和50年1月に協会設立20周年記念事業として創刊されました。その後、広報事業委員会が設置され、馬瀬金平（左官）初代委員長の下、全単組より1名ずつと青年部より2名の合計12名の委員で、記事作成から写真の構成などの編集会議を行い、1月と8月の年2回、協会報を発行していました。その後、平成25年の一般社団法人移行の際の事業見直しに伴い、平成26年1月発行の第50号より年1回の発行に削減されました。

現在の広報事業委員会は、村田勝（大工）委員長・飯田茂（左官）副委員長・石川健太（石材）・今井幸平（表具）の4名の委員で現地取材や写真撮影、記事の編集を行っています。

これからも色々な取材を通して会員や協会役員などの生の声を聞きながら、事業委員会活動や組合活動などの様子を皆様のお手元に届けたいと思っています。皆様と共に広報事業委員会が飛躍していければと思っています。

〔取材：石川 健太〕



「協会報」編集会議の様子

左から、今井 幸平 委員（表具）、村田 勝 委員長（大工）、飯田 茂 副委員長（左官）、石川 健太 委員（石材）